

201112 高良山 (312m)

6.7 km 3時間20分 (休憩時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです。



- 駐車地
- ↓ 0:06
- 馬蹄石
- ↓ 0:15
- 車道出合
- ↓ 0:10
- 道路横断
- ↓ 0:26
- 分岐
- ↓ 0:10
- 引き返し
- ↓ 0:18
- 杉ヶ城分岐
- ↓ 0:10
- 杉ヶ城
- ↓ 0:10
- 奥の院分岐
- ↓ 0:06
- 高良山(312m)
- ↓ 0:08
- 山頂分岐
- ↓ 0:10
- 奥の院分岐
- ↓ 0:10
- 杉ヶ城
- ↓ 0:05
- 杉ヶ城分岐
- ↓ 0:08
- 吉見岳入口
- ↓ 0:20
- 吉見岳(148m)
- ↓ 0:15
- 虚空蔵堂
- ↓ 0:04
- 丸太橋
- ↓ 0:06
- 参道
- ↓ 0:03
- 駐車地



駐車地 GH=65.4m 駐車地からこの鳥居をくぐり参道へ



参道 GH=75.7m 前方に参道を横切る神籠石が見えた



参道を横切る神籠石 GH=83.5m 前方に参道を横切る神籠石が見えた



傍に立つ神籠石の案内板



馬蹄石 GH=90.8m



露岩に出来た窪みを馬蹄石と言う



傍に立つ馬蹄石の案内板には、「この大石の上に高良の神が神馬の蹄あとを残されたという伝えから「馬の足形」とも呼ぶ。然し、中世の縁起書「高良記」には、この石こそが「神籠石」であり「八葉の石畳(現在の神籠石列石)の起点、終点であると記されている。付近の字名も「神籠石」という。恐らく古代の磐座の一種であろう」と書いてある



北側列石 GH=84.6m 周回して此处に下りて来た



南側列石 GH=82.7m 此处から南谷水門へ下る



南側列石の天端には後世に開けられたと思われる方形穴(27x24cm)があげられている



南谷水門 GH=74.3m 底石と右岸側階段状積石が残っている



列石と犬走 GH=84.7m
列石前面に幅1間程の犬走が続いている



4段積列石 GH=88m
4段積みの列石を見る



列石測定 GH=99m 岩石名:緑泥片岩
長さ:110cm



高さ:74cm



奥行:74cm
緑泥片岩の比重は $\gamma = 2.8t/m^3$ なので $W = 1.7t$ となる



角石 GH=104.6m 勢至堂山角列石の所で直角に折れる



角石測定 GH=104.6m 岩石名:緑泥片岩
長さ:110cm



高さ:86cm



奥行:76cm

緑泥片岩の比重は $\gamma = 2.8t/m^3$ なので $W = 2.0t$ となる



角石の手前は長さ40cm程の切石を3個縦並べとしている



天端は揃っているが底面は不揃い
厚さ20cm程の薄板を縦使いしている



端部の切口は機械で切ったように直線に加工されている



隙間には間詰石として栗石を詰めている



縦長の切石を多用している



摺付石
摺付石
露岩
露岩天端研

岩盤埋込列石 GH=99.7m
列石の天端線を揃える為露岩を研り、そこに摺付切石を並べている



ここでは摺付底面がそろっている。
屑石と土を混合して底面を造っているようだ



即心上人墓入口 GH=101.1m 右側列石測定



長さ:141cm



高さ:54cm



奥行:60cm
緑泥片岩の比重は $\gamma = 2.8t/m^3$ なので $W = 1.3t$ となる



大学稲荷前列石 GH=103.5m



奥へ延びる列石 GH=109.8m 1間程の犬走が続く



大社分岐 GH=123.0m 高良大社への分岐では列石が取り除かれ左側に積まれている
天端線に高低差が付いている



摺付石や間詰石が見られる



砂岩と緑泥片岩 GH=141.5m

天端は揃うが、底面は不揃い。砂岩の底は切れなかったのか？



砂岩の表面は見事な仕上げで磨かれたようである



表面は滑らかな仕上げ



前面の切口は一直線に鋸で切られたよう



左右で天端勾配が違う GH=161.0m



天端は揃うが底面は不揃い 何故底面を揃えないのか不思議だ



土塁 GH=177.8m



列石の基礎はクズ石混り土を使用している



露岩頂部を削り切石を並べている



前後が見当たらない列石



杉ノ城分岐 GH=250.2m



分岐の列石



杉ノ城分岐から列石は下って行く



本宮山東列石と土塁 GH=244.7m
縦長を挿みながら天端を揃え、曲がりくねり下って行く



大社道路出合 GH=230.2m
列石は此处で消える



道路の北斜面は急な斜面となっている



高良山大社 GH=232m



吉見岳 GH=148m 久留米市と背振山地を望む



虚空蔵堂東崖列石 GH=90.6m 石垣の上部に列石が北に斜上している



石垣の上に列石



列石の上に石垣



北谷水門跡 GH=68.2m この辺りが北谷水門跡とされている





GH=69.2m 斜上する列石



GH=90.0m 多段積みの列石



参道横断列石の北側に出る



周回路傍の数ヶ所では石斧のような物が見られた